

⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
⊘ 禁止	ガス機器など温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。 また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。	⚠ 厳守	照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
⊘ 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。		

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ	送り総容量
AD45128L・AD45129L	AC100V	0.17A	11.5W	LED	6A

■施工手順 ⚠注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

⊘ 禁止

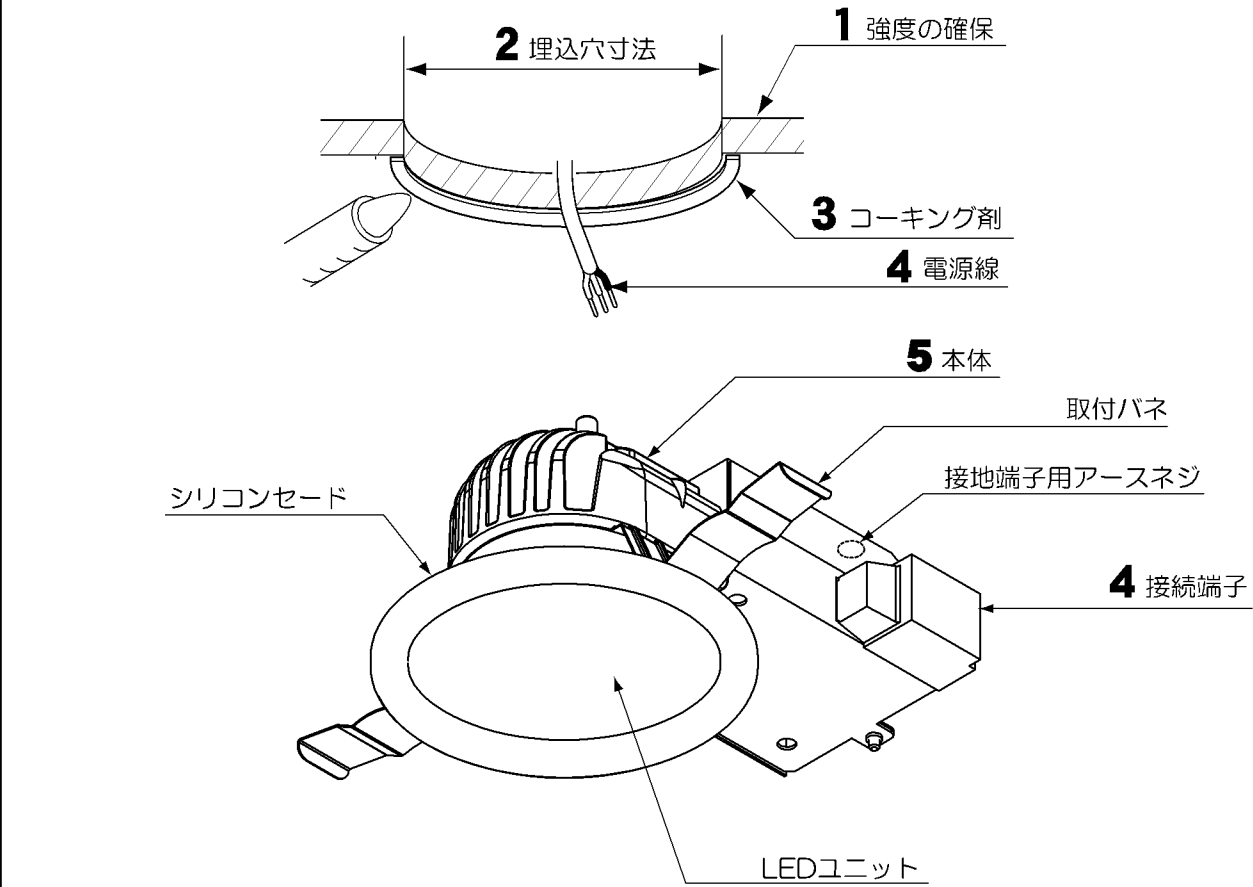
このような場所には取付けないでください。

傾斜天井

壁面

55°を超える天井

※配光は傾斜天井対応ではありません。



1 施工前の確認

器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する。

2 天井に埋込穴をあける

埋込穴寸法	天井材厚
φ100±1	5～25mm

3 取付面が凹凸のある天井の場合

取付面と本体の間にすきまが発生している場合は、コーキング剤で天井面を平面とする。

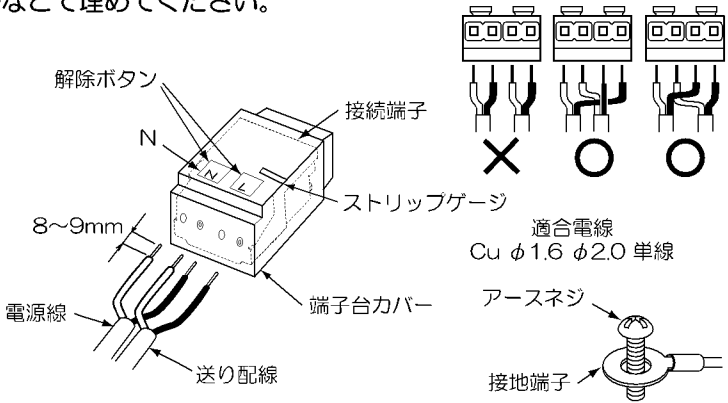
⚠注意 タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。
本体パッキンと取付面とのすきまを防水シールなどで埋めてください。
→火災・感電の原因になります。

4 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、端子台カバーの上から、接続端子に確実に差し込む。このとき、電源線は器具から離して施工する。また、送り配線は照明器具専用とする。
(送り総容量6A以下)
はすす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

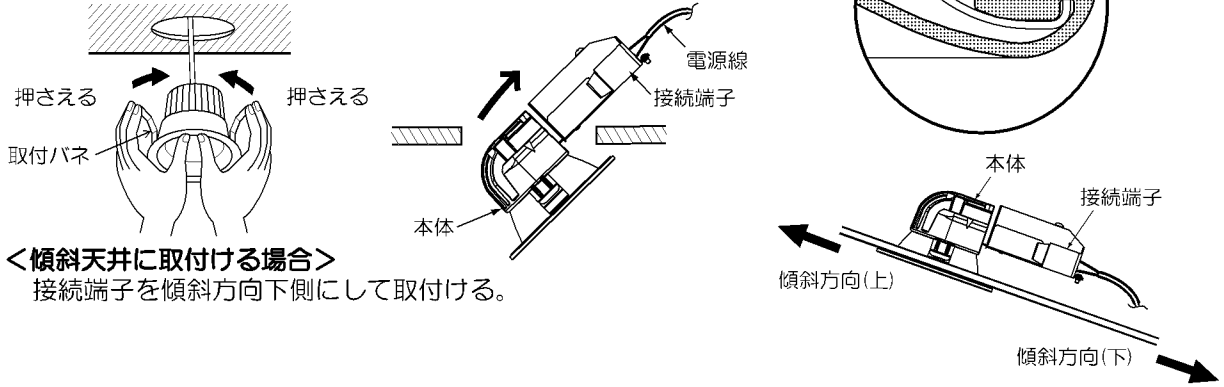
⚠警告 防雨・防湿型で取付ける場合は、D種(第三種)接地工事を行ってください。
接地工事が不完全な場合、感電の原因になります。

⚠警告 電源の接続は確実に行ってください。
端子台カバーを外さずに電源線を接続してください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。



5 本体を取付ける

- 取付バネ（2ヶ所）を矢印の方向へ押さえつける。
 - 本体を接続端子の方から埋込穴に挿入する。
 - ゆっくりと本体を押し上げ、シリコンセードに歪みの無いよう整え、確実に取り付ける。
- ※シリコンセードが歪んでいると気密性が損なわれます。



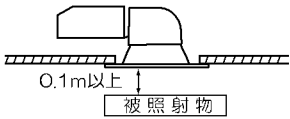
＜傾斜天井に取付ける場合＞
接続端子を傾斜方向下側にして取付ける。

※天井材厚が薄い場合、天井との間に隙間が空くことがありますので、この場合は一度バネを押し広げてから埋込穴に挿入してください。

6 点灯の確認を行なう

■照射距離について

- 照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。被照射面との距離は0.1m以上離してください。



⚠ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。